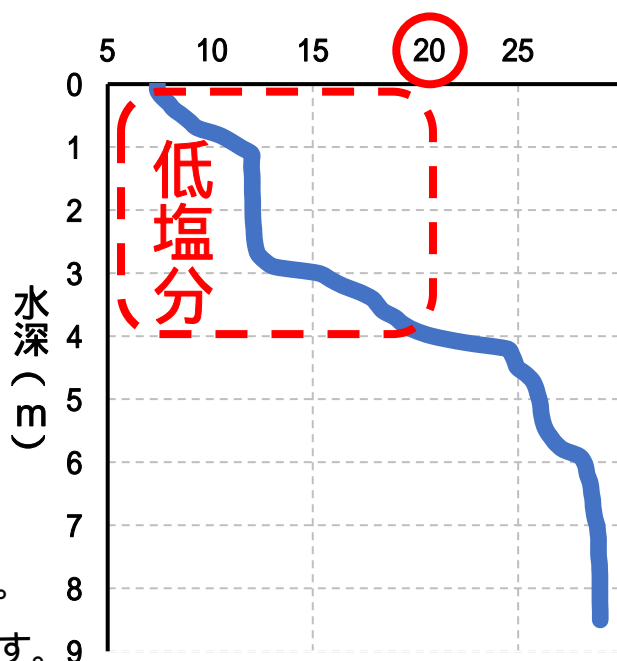


令和3年8月の豪雨によるカキ筏の海況について

令和3年8月20日
佐賀県有明水産振興センター

■ 現状

- ・ 右図は8月20日のカキ筏（満潮時）における塩分の推移を示しています。
- ・ 塩分は表層～水深4mまで20以下の低塩分になっています。



< 参考 >

マガキの塩分耐性（室内試験結果）

塩分20以上では10日間は100%生存可能です。

塩分15、10、5では数日後生存率が減少します。

山元・半田(2011)

■ シロボヤ

- ・ シロボヤは低塩分により弱っていることが確認されました。
- ・ 今後、死亡したシロボヤは養殖連から脱落すると予想されます。

底層における塩分および溶存酸素の推移は下記の自動観測データでも確認できます。

「有明海貧酸素水塊広域連続観測 B4観測塔」で検索

URL : <https://isahayawan.jp/kansokuchi ten/b4.htm>



➡ カキ筏に最も近い観測塔です。

海底直上0.1mのデータを閲覧可能です。

○連絡先
佐賀県有明水産振興センター
TEL : 0952-66-2000
担当 : 川崎・野口